

遺跡を活かし、今に伝える

1月29日(土)

受付 12:45~13:15

開会行事 13:15~13:30

基調講演 13:30~15:00

独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所長 田辺 征夫 氏

演題 「遺跡を活かし、今に伝えるー平城宮跡の復原整備と柳之御所遺跡ー」

遺跡報告と共同研究発表 15:15~17:00

- 柳之御所遺跡の整備 平泉遺跡群調査事務所
- 長者ヶ原廃寺跡の調査成果 奥州市世界遺産登録推進室
- 白鳥館遺跡の調査成果 奥州市世界遺産登録推進室
- 平泉とその周辺地域の河成地形についての自然地理学的研究 東北学院大学 松本 秀明 氏
- 骨寺村荘園遺跡の調査成果 一関市教育委員会
- 中世都市平泉関連資料の再検討・再調査 兵庫大学 岡 陽一郎 氏

1月30日(日)

受付 8:45~9:15

遺跡報告 9:15~10:00

- 柳之御所遺跡の調査成果 平泉遺跡群調査事務所
- 無量光院跡の調査成果 平泉町教育委員会
- 中尊寺大池跡の調査成果 平泉町教育委員会

共同研究発表 10:00~11:50

- 古代中国と平泉庭園 岩手大学 藪 敏裕 氏・劉 海宇 氏
- 東アジアにおける都市造営と平泉の比較研究 米沢女子短期大学 吉田 歆 氏
- 中尊寺に残されたガラス玉の非破壊的分析と考察 函館工業高等専門学校 中村 和之 氏
- 平泉藤原氏と東国 岩手大学 菅野 文夫 氏

閉会 12:00

平成23年

1月29日(土) 会場：胆江地区勤労者教育文化センター

奥州市水沢区佐倉河字後樋120-1 TEL. 0197 - 24 - 7370

1月30日(日) ※駐車場には限りがありますので、相乗り等でのご利用をお願いいたします。

- 主催 岩手県教育委員会
 いわて高等教育コンソーシアム(構成大学:岩手大学、岩手県立大学、岩手医科大学、富士大学、盛岡大学)
- 共催 奥州市、奥州市教育委員会、平泉町教育委員会、一関市教育委員会
- 後援 (財)岩手県文化振興事業団、(社)岩手県文化財愛護協会、岩手考古学会、岩手史学会
 IBC岩手放送、テレビ岩手、めんこいテレビ、岩手朝日テレビ、NHK盛岡放送局、水沢テレビ
 エフエム岩手、岩手日報社、読売新聞盛岡支局、朝日新聞盛岡総局、毎日新聞盛岡支局、産経新聞盛岡支局
 時事通信社盛岡支局、岩手日日新聞社、胆江日日新聞社、河北新報盛岡総局、共同通信社盛岡支局

第11回平泉文化フォーラム

入場
無料

【問い合わせ先】 岩手県教育委員会事務局生涯学習文化課(柳之御所班) TEL: 019-629-6173

平泉遺跡群調査事務所 TEL: 0191-46-2820

基調講演「遺跡を活かし、今に伝えるー平城宮跡の復原整備と柳之御所遺跡ー」

奈良文化財研究所長 田辺征夫 先生

講演要旨

遺跡の整備は、遺跡の価値や内容を広く伝えるために大きな役割を担っている。そして、整備された遺跡を公開するだけでなく、地域の方々とともにその資源を活かしていくことが重要となる。奈良の都、平城京は遷都 1300 年を迎え、平城宮を中心に復原整備が行われている。平城宮は第一次大極殿など建物の復原を行い活用を進め、各地の整備に影響を与えてきた。今回は、その整備の内容や考え方を紹介するとともに、整備に至るまでの保存の経緯や、それに携わった先人たちの業績も伝える。あわせて平城宮の整備の展望や、現在整備を進めている柳之御所遺跡など平泉の遺跡の整備活用への期待を話していきたい。

田辺征夫先生略歴

奈良国立文化財研究所（現在の奈良文化財研究所）に入所後、文化庁美術工芸課（現在の美術学芸課）、東京国立博物館等にて多方面から文化財の調査保護に携わり、現在は奈良文化財研究所長。平城宮等の遺跡調査を手がけ、また、多くの文化財指定や展示を推進した。平城宮の復原整備に関わるほか、平泉遺跡群調査整備指導委員として平泉遺跡群の調査整備の指導を行っている。

専門は日本考古学（都城、寺院史）

